

平成30年3月

平成30年	1月 ~	3月期	実績
平成30年	4月 ~	6月期	見通し

中小企業景況調査報告書

岩手県商工会連合会

目 次

主要景況項目の動き	2
業況天気図	3
全産業の推移	4
製造業の推移	7
建設業の推移	11
小売業の推移	15
サービス業の推移	19
全産業の過去データの推移 * 平成15年1月以降	23
[集計資料]	

D・Iとは

D・Iとは、ディフュージョン・インデックスの略です。これは、企業経営者の景気動向を表す指標として利用されています。

算出方法は、増加（上昇・好転）企業割合から減少（低下・悪化）企業割合を差し引いたものです。

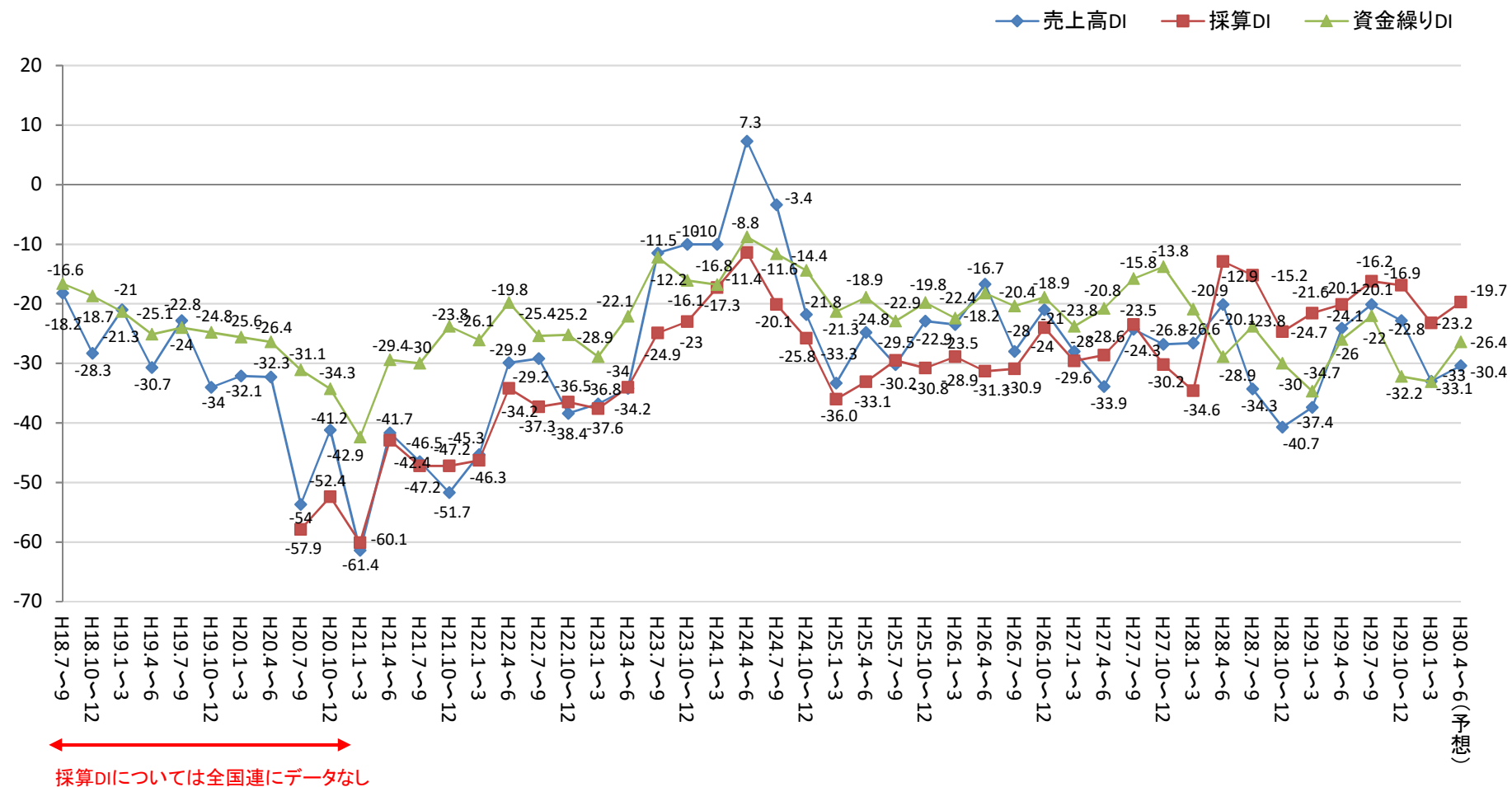
D・Iがプラスなら強気（楽観）、マイナスなら弱気（悲観）、原材料または商品の仕入単価の場合はプラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となります。

プラス、マイナス同数の場合はD・Iはゼロになります。





































たとえば、売上高増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、D・Iは $50 - 20 = 30$ となり、全体として経営者の売上高に対する強気の度合いを表しています。






[岩手県 産業全体]

主要景況項目の動き —前年同期比—



業 況 天 気 図

業 種 \ 期 間	平成28年			平成29年			平成30年		
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	(見通し) 4~6月
製 造 業	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 薄曇	 曇	 曇
建 設 業	 曇	 晴	 雨	 晴	 曇	 薄曇	 曇	 雨	 曇
小 売 業	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨
サ ー ビ ス 業	 曇	 雨	 雨	 雨	 曇	 曇	 曇	 雨	 曇

売上高DI	100.0 ~30.1	30.0 ~10.1	10.0 ~△10.0	△10.1 ~△30.0	△30.1 ~△100.0
表 示	 快 晴	 晴	 薄 曇	 曇	 雨

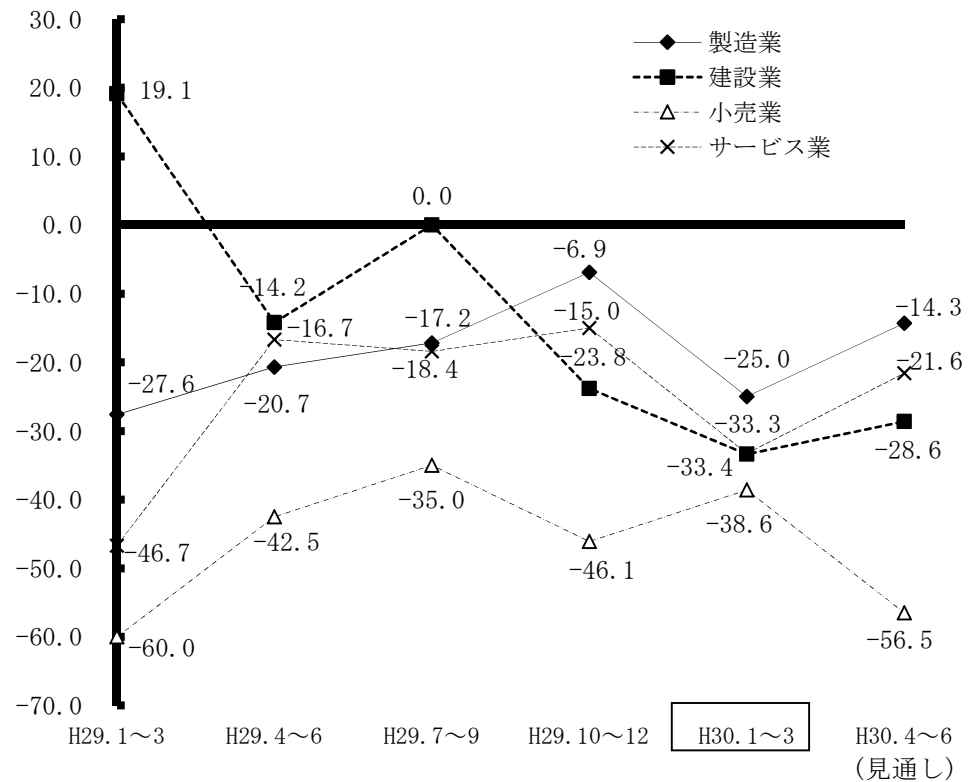
全産業の推移

売上高

小売業が上昇 製造業、建設業、サービス業が低下

今期は、前期低下に転じていた小売業が7.5ポイント増加して△38.6まで回復しました。他方、3期連続して改善基調にあった製造業が18.1ポイント減少して△25.0まで低下、サービス業も低下に転じ、18.3ポイント減少して△33.3、建設業が9.6ポイント減少して△33.4まで低下しました。建設業は、2期連続の減少となります。

来期は、今期低下した製造業、サービス業、建設業の3業種において上昇が見込まれるものの、今期上昇した小売業では大幅な低下が見込まれており、マイナス幅が拡大することが予想されます。



※建設業の売上高は完成工事高

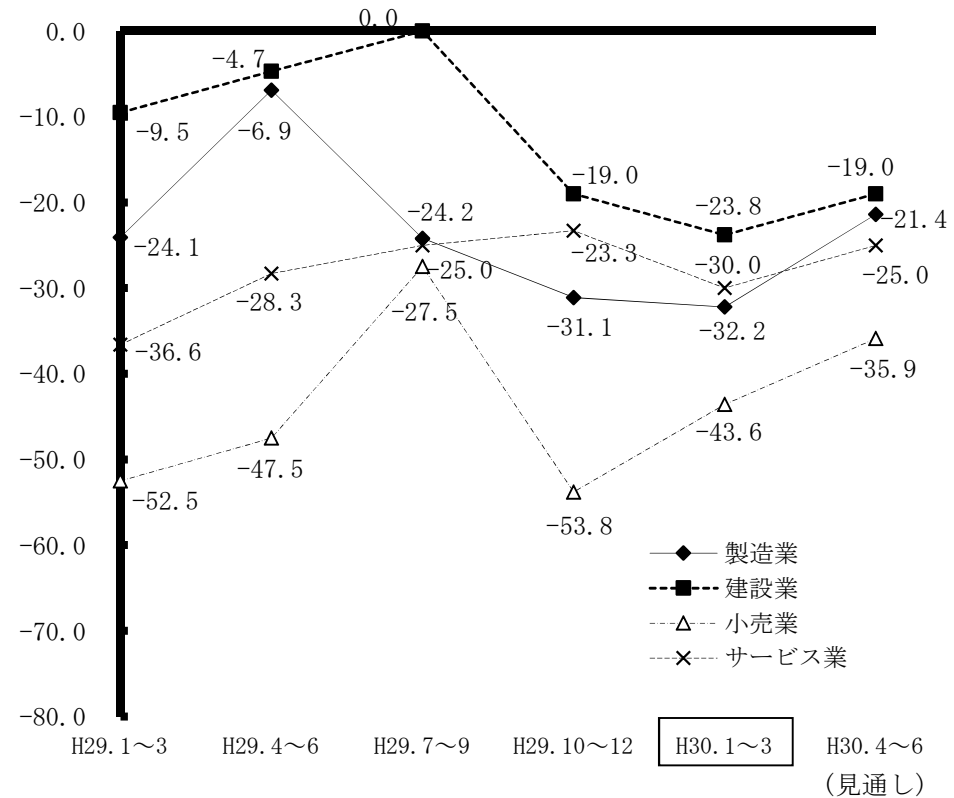
全産業の推移

採算

小売業が好転
製造業、建設業、サービス業が悪化

今期は、小売業が10.2ポイント増加して改善に転じたものの、建設業が4.8ポイント減少の△23.8、サービス業が6.7ポイント減少の△30.0、製造業も小幅に減少して△32.2となり、建設・サービス・製造の3業種で採算D・Iが悪化しました。

来期は、小売業が今期に引き続いて増加が予想されるほか、今期悪化した建設業、サービス業、製造業の3業種において好転が見込まれます。



※採算は各業種とも経常利益

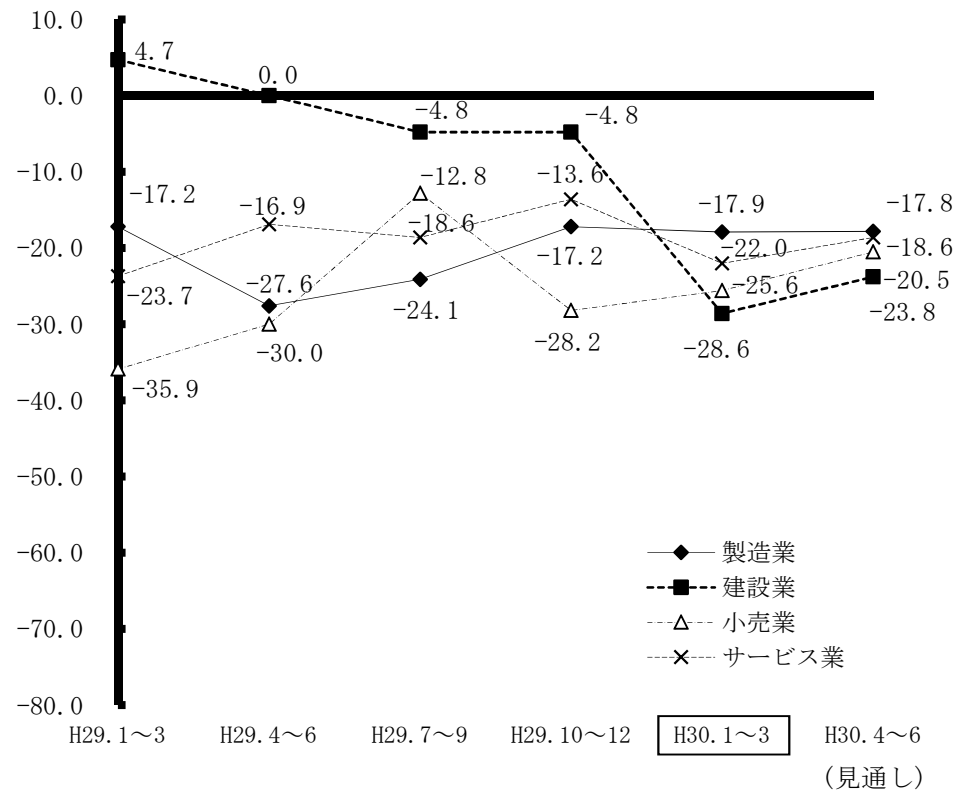
全産業の推移

資金繰り

小売業が改善
建設業が大幅に悪化

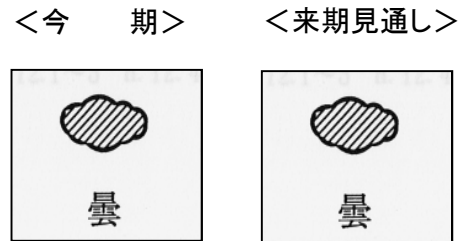
今期は、小売業が2.6ポイント増加して△25.6まで改善し、製造業がほぼ横ばいの△17.9となったものの、サービス業が8.4ポイント減少して△22.0となり、また、建設業においては23.8ポイントと大幅に減少して△28.6まで悪化しました。建設業は、4期連続して資金繰りD・Iが悪化しています。

来期は、小幅ながら全業種において資金繰りD・Iが改善する見通しです。



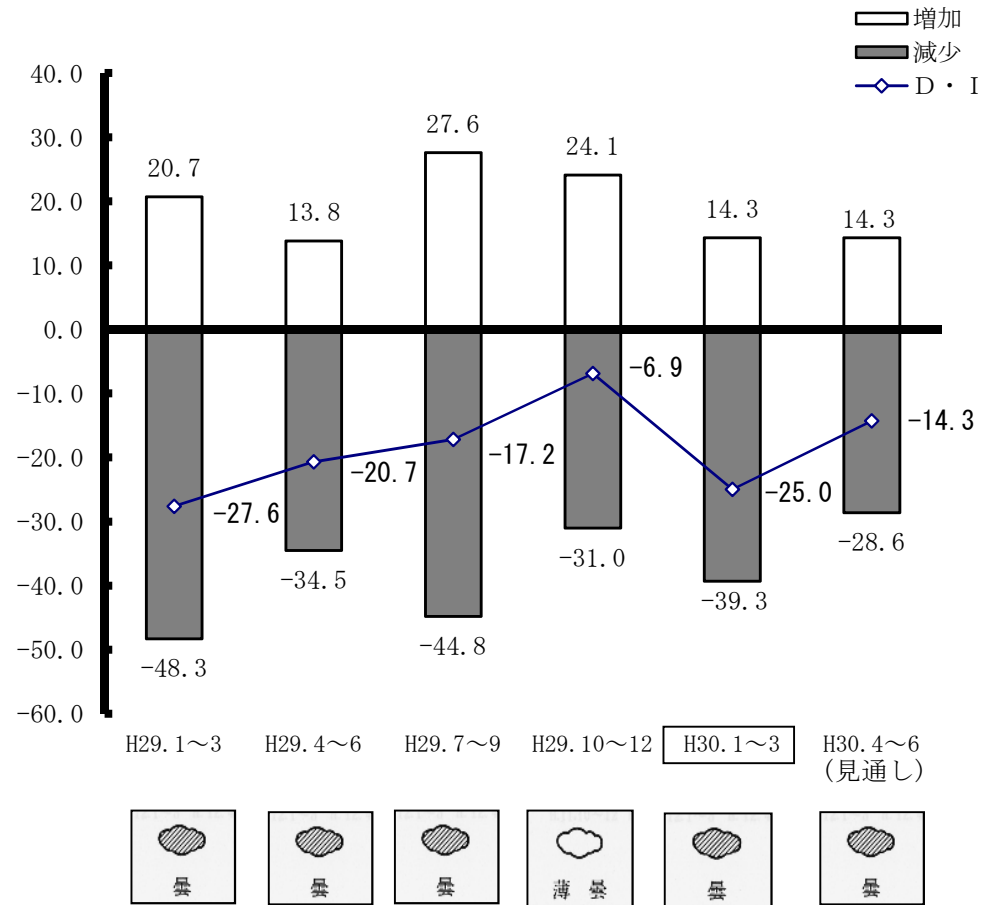
製造業の推移

売上高



今期は、売上高増加企業が減少し、売上高減少企業が増加したことにより、売上高D・Iは18.1ポイント減少して△25.0となりました。3期連続の上昇基調から低下に転じ、業況天気図も薄曇から再び曇へと変化しています。

来期は、売上高の増加を予想する企業は横ばいとなるものの、売上高の減少を予想する企業割合が減少することから、売上高D・Iは上昇に転じる見通しです。



製造業の推移

採算

<今 期>

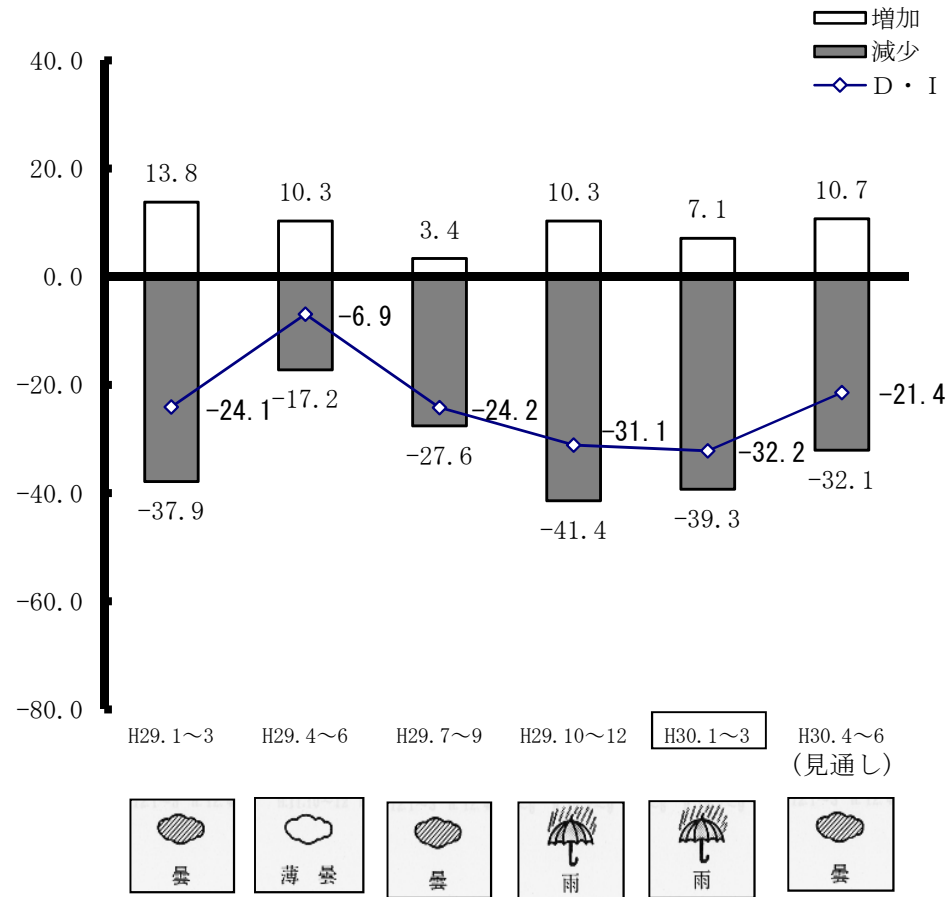


<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業の割合が減少したものの、採算が悪化した企業の割合も2.1ポイント減少したことから、採算D・Iは1.1ポイントの減少にとどまり、△32.2となりました。業況天気図は依然として雨となっています。

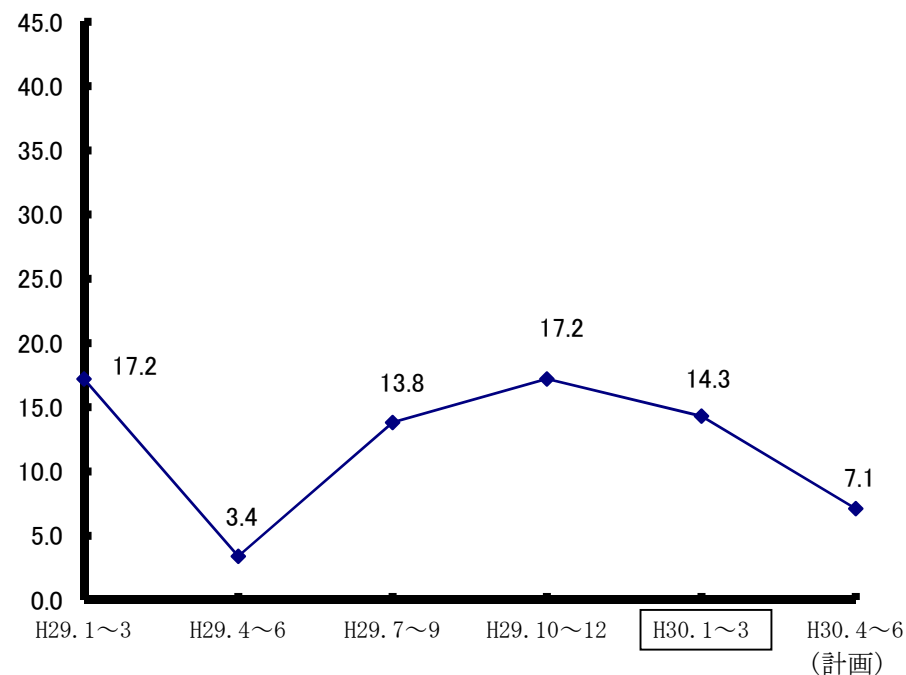
来期の採算D・Iは、採算の改善を予想する企業の増加と、採算の悪化を予想する企業の減少が見込まれることから、採算D・Iは下げ止まり、改善に転じる見通しです。



設備投資

2期連続して増加していた設備投資を実施した企業数の割合は、今期は減少に転じ、14.3まで低下しました。

来期は、設備投資を実施する企業数の割合は今期に引き続いて減少し、7.1まで低下する見通しです。



(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

製造業の推移

経営上の問題点

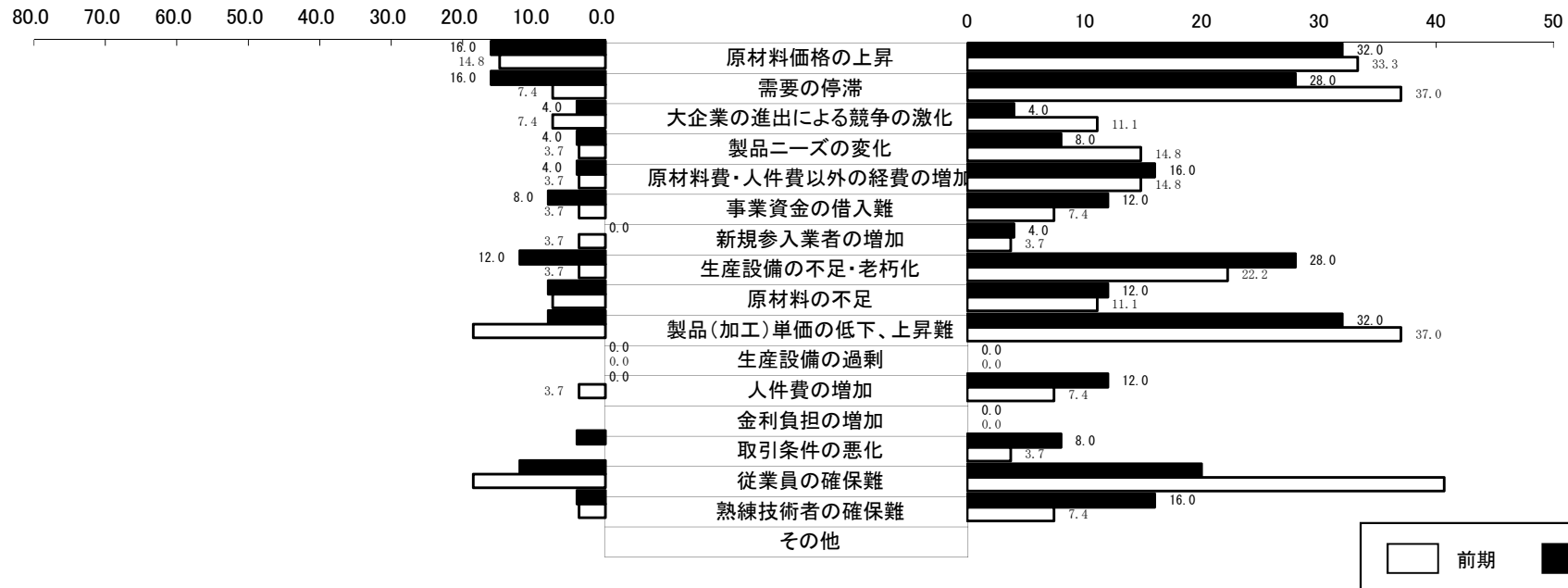
岩手県 製造業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

1位~3位の問題点

(目盛:%)



建設業の推移

売上高

<今 期>

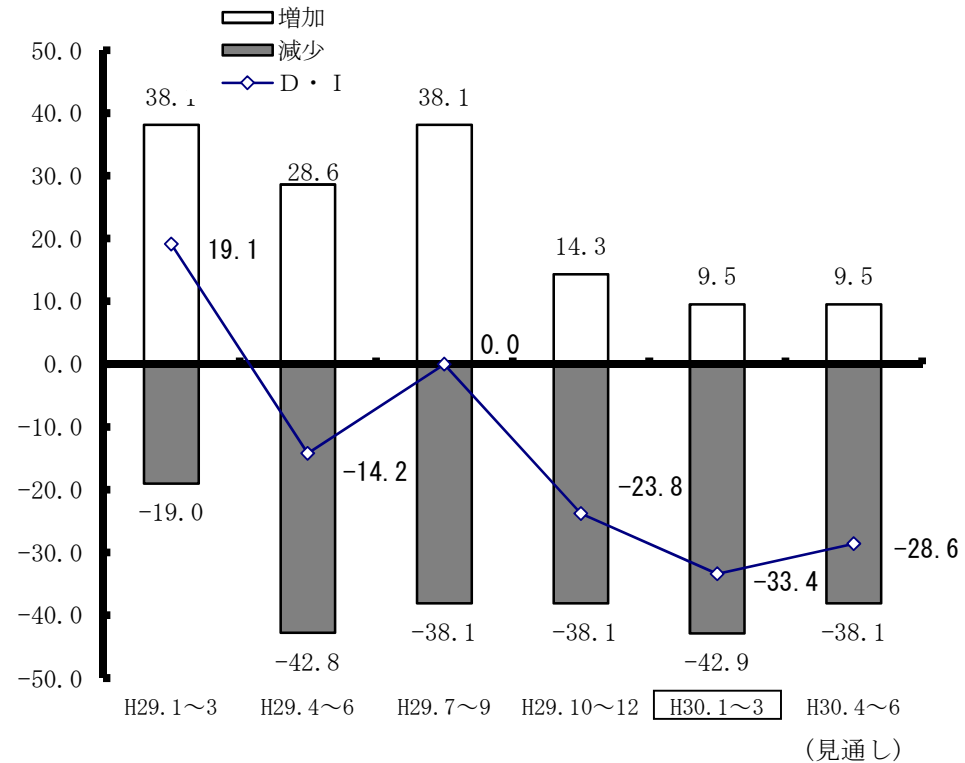


<来期見通し>



今期は、売上高が増加した企業割合の減少と売上高が減少した企業割合の増加により、売上高 D・Iは2期連続してマイナスとなり、△33.4まで低下しました。業況天気図も曇から雨へと変化しています。

来期は、売上高の増加を予想する企業の割合は横ばいとどまるものの、売上高の減少を予想する企業の割合が減少すると見込まれることから、売上高D・Iは上昇に転じ、マイナス幅が縮小する見通しです。



※建設業の売上高は完成工事高

建設業の推移

採算

<今 期>

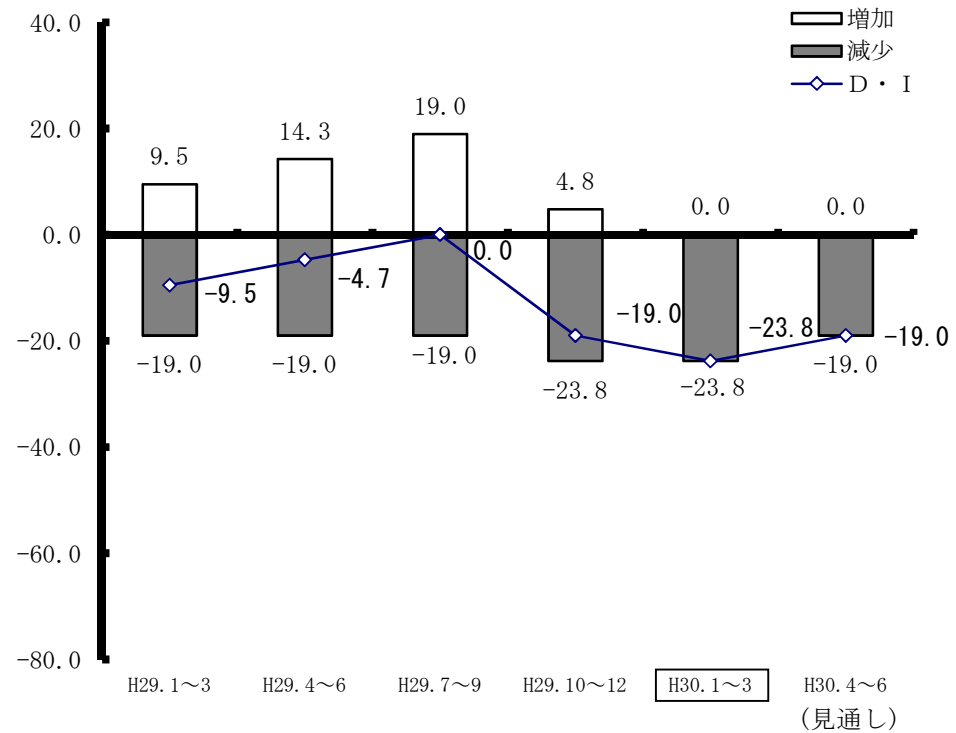


<来期見通し>



今期の採算D・Iは、採算の好転を挙げた企業がゼロとなり、採算が悪化した企業の割合が前期と横ばいであったことから、採算D・Iは4.8ポイント減少し、△23.8まで悪化しました。

来期は、採算の好転を予想する企業は今期に引き続きゼロとなるものの、採算悪化を予想する企業が減少することから、採算D・Iは上昇する見通しです。



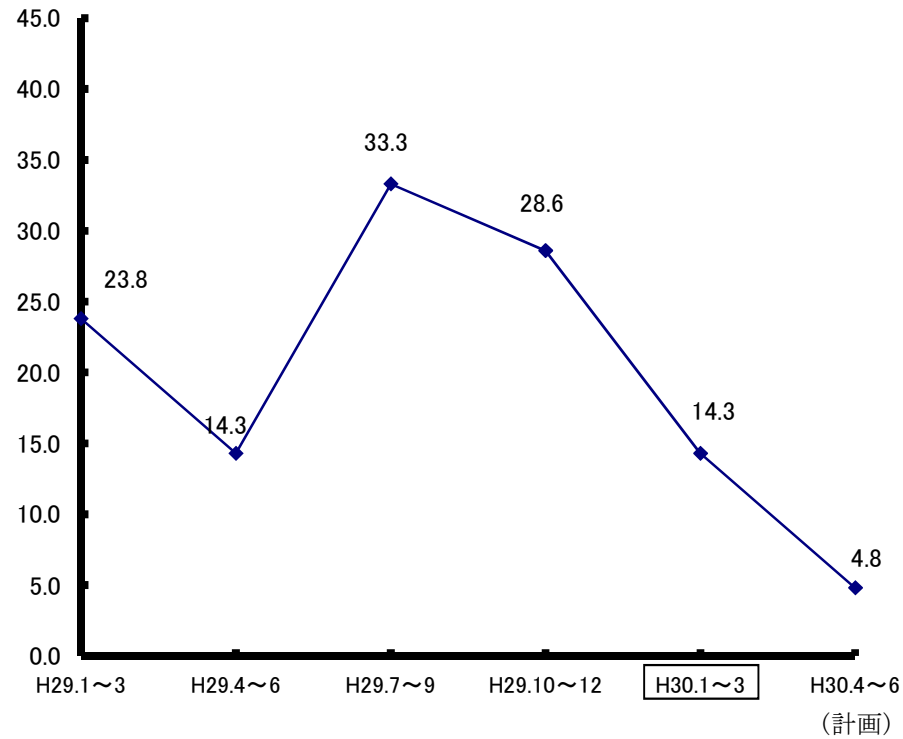
建設業の推移

設備投資

今期、建設業において設備投資を実施した企業数の割合は前期に引き続き減少し、14.3の水準まで低下しています。

来期も、設備投資を予定する企業数の割合は引き続き減少し、4.8まで低下する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

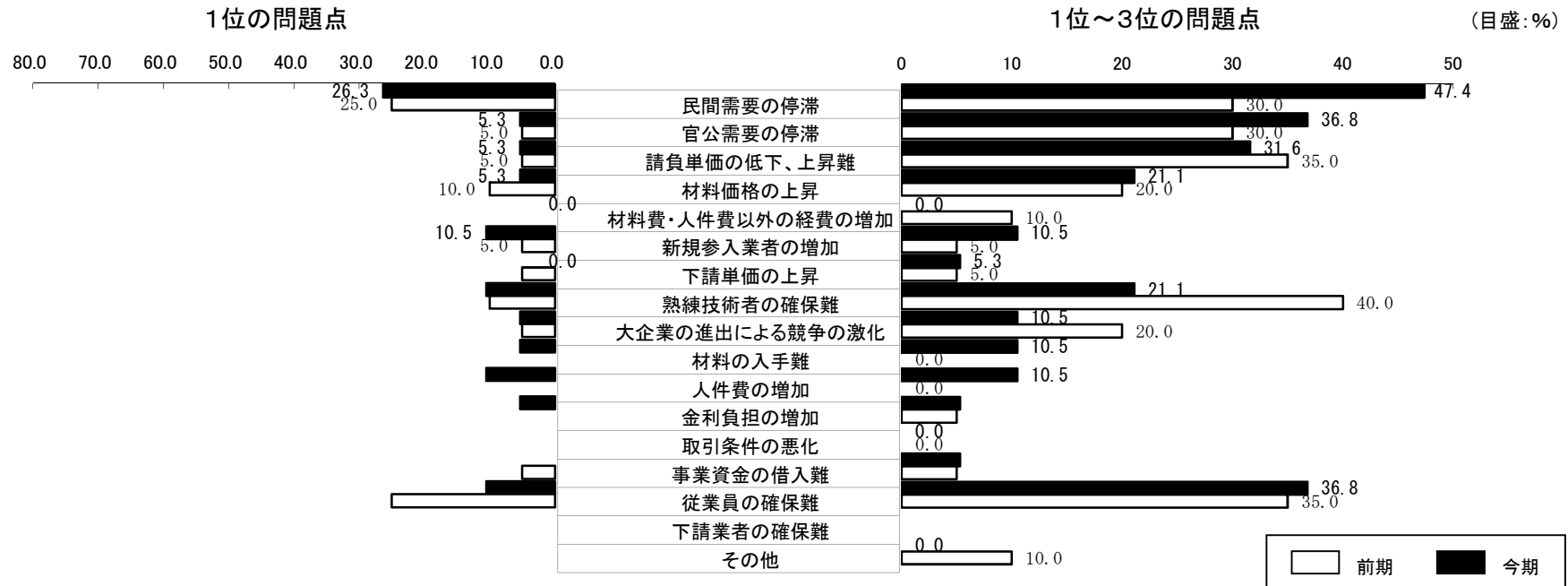


建設業の推移

経営上の問題点

岩手県 建設業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



小 売 業 の 推 移

売 上 高

<今 期>

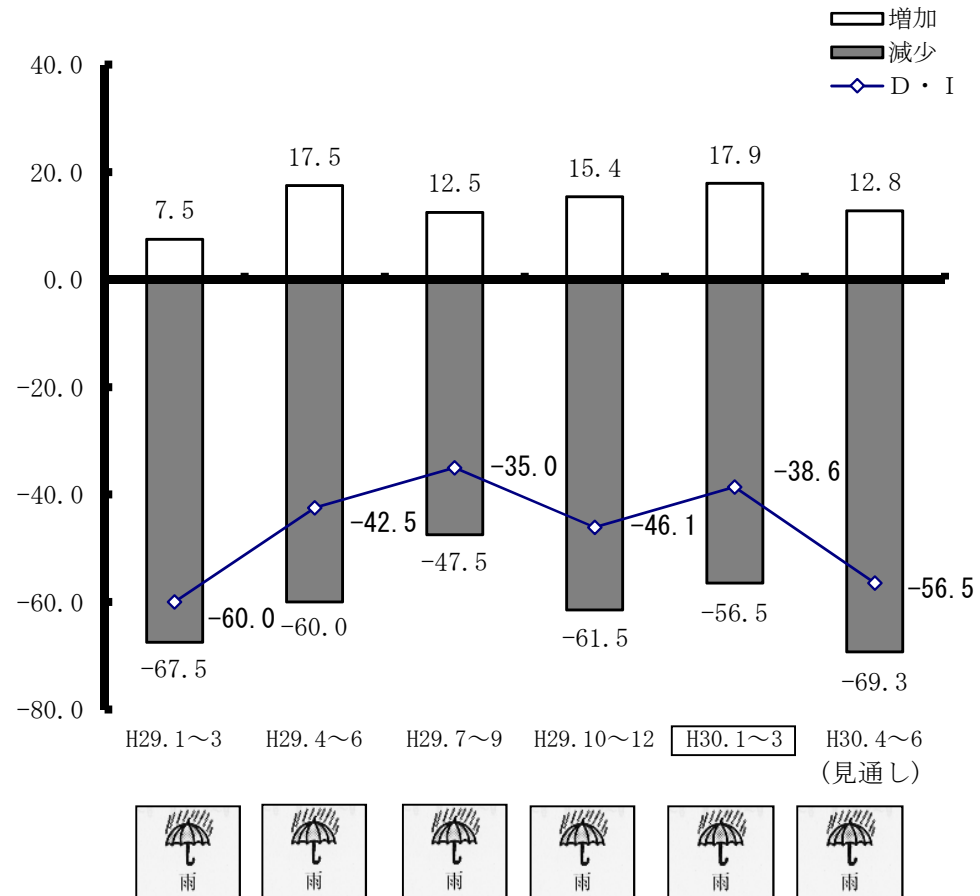


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業の割合が増加し、売上高減少企業の割合が減少したことにより、売上高D・Iは7.5ポイント増加し、△38.6まで上昇しました。

来期は、売上高増加を予想する企業の割合の減少と売上高減少を予想する企業割合の増加により、売上高D・Iは、大幅に低下してマイナス幅が拡大する見通しです。



小 売 業 の 推 移

採 算

<今 期>

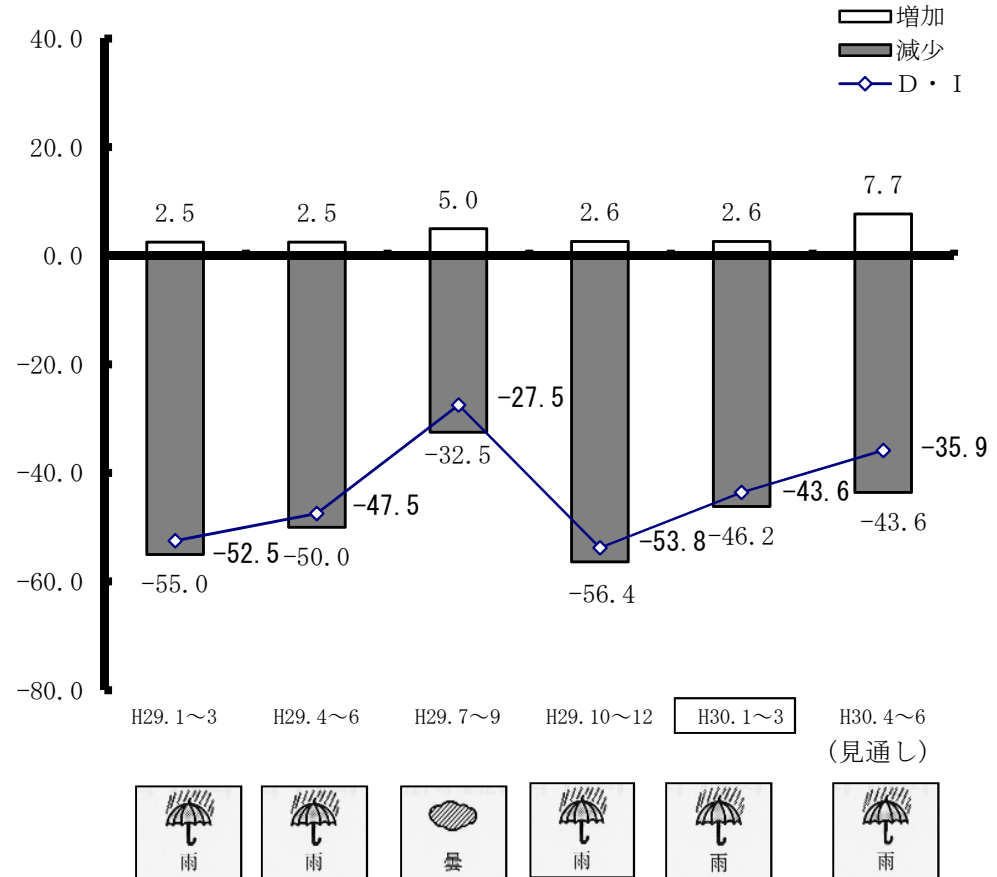


<来期見通し>



今期は、採算が好転した企業の割合は前期と横ばいとなったものの、採算が悪化した企業の割合が大幅に減少したため、採算D・Iは10.2ポイント増加して△43.6まで上昇しました。

来期は、採算の好転を予想する企業割合の増加と採算の悪化を予想する企業割合の減少により、採算D・Iのマイナス幅は縮小し、△35.9まで改善する見通しです。

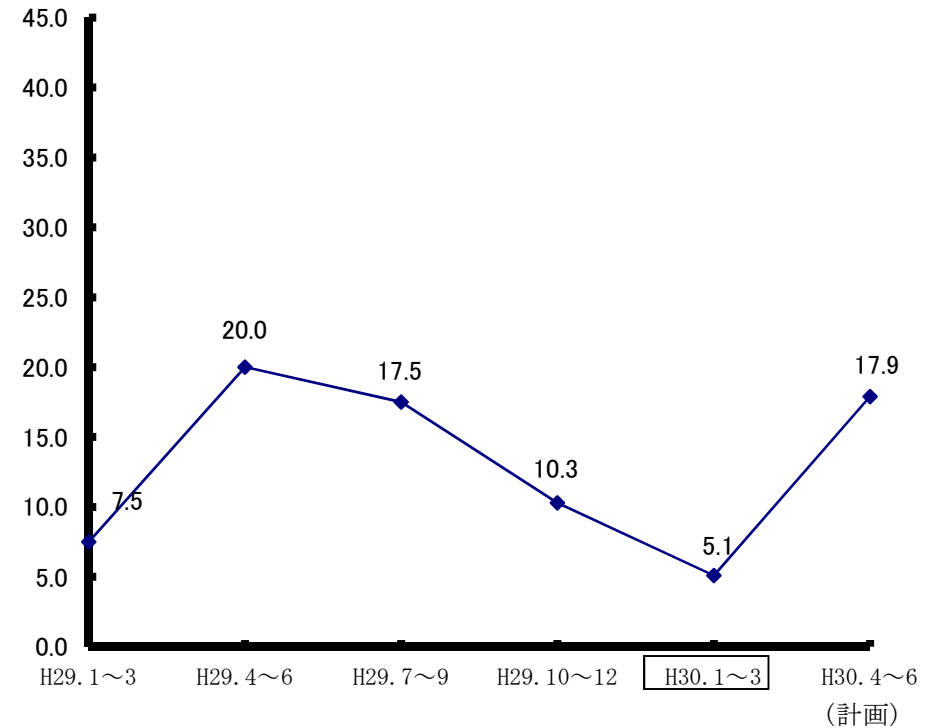


設 備 投 資

今期設備投資を実施した企業数の割合は、5.2ポイント減少して3期連続の減少となり、5.1まで低下しています。

来期は、設備投資を計画している企業数の割合は増加に転じ、大幅に上昇するものと見込まれています。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



小売業の推移

経営上の問題点

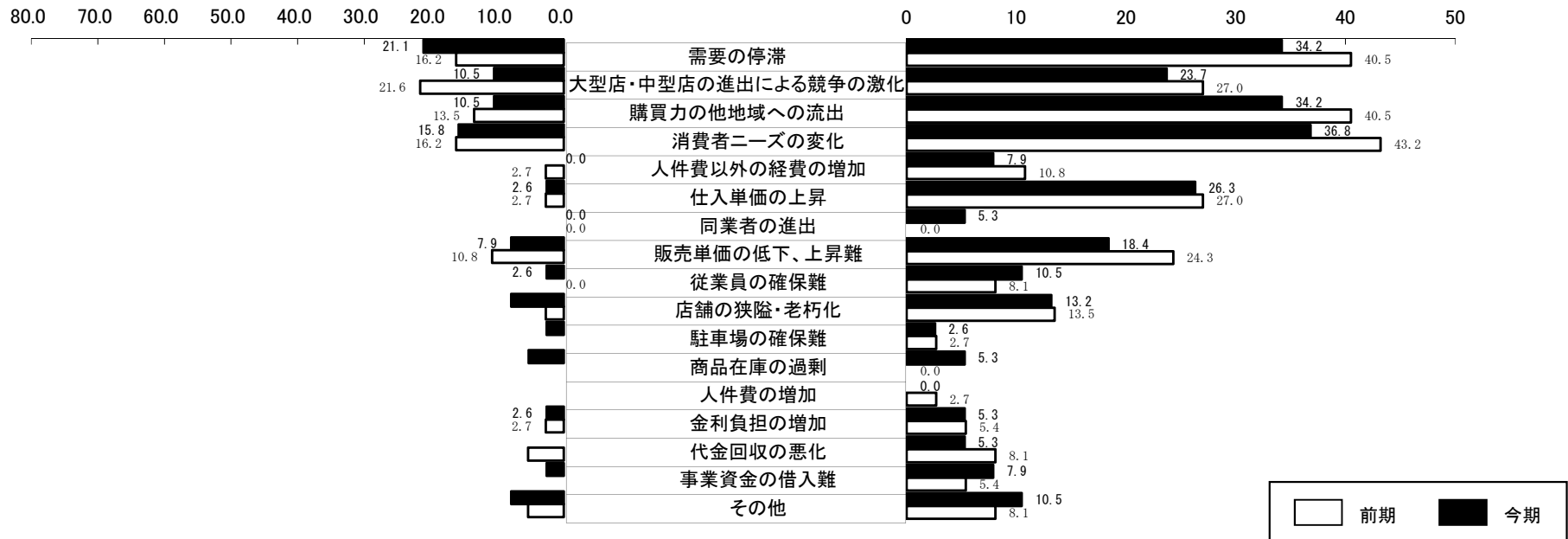
岩手県 小売業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

1位~3位の問題点

(目盛:%)



サービス業の推移

売上高

<今 期>

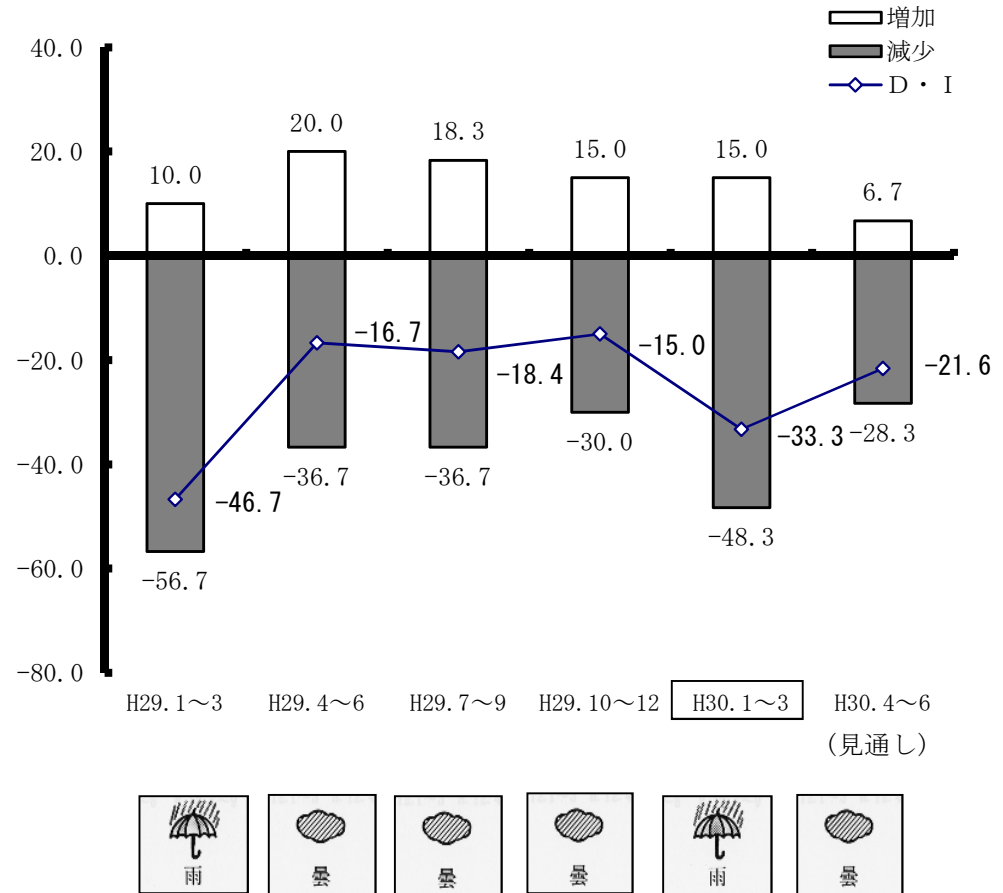


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業の割合は横ばいとなったものの、売上高減少企業の割合が18.3ポイントと大幅に増加したため、売上高D・Iは18.3ポイント減少して△33.3まで低下し、業況天気図は曇から雨へと変化しました。

来期は、売上高増加を予想する企業の割合は減少するものの、売上高減少を予想する企業の割合の減少が見込まれるため、売上高D・Iは上昇し、△21.6まで回復する見通



サービス業の推移

採算

<今 期>

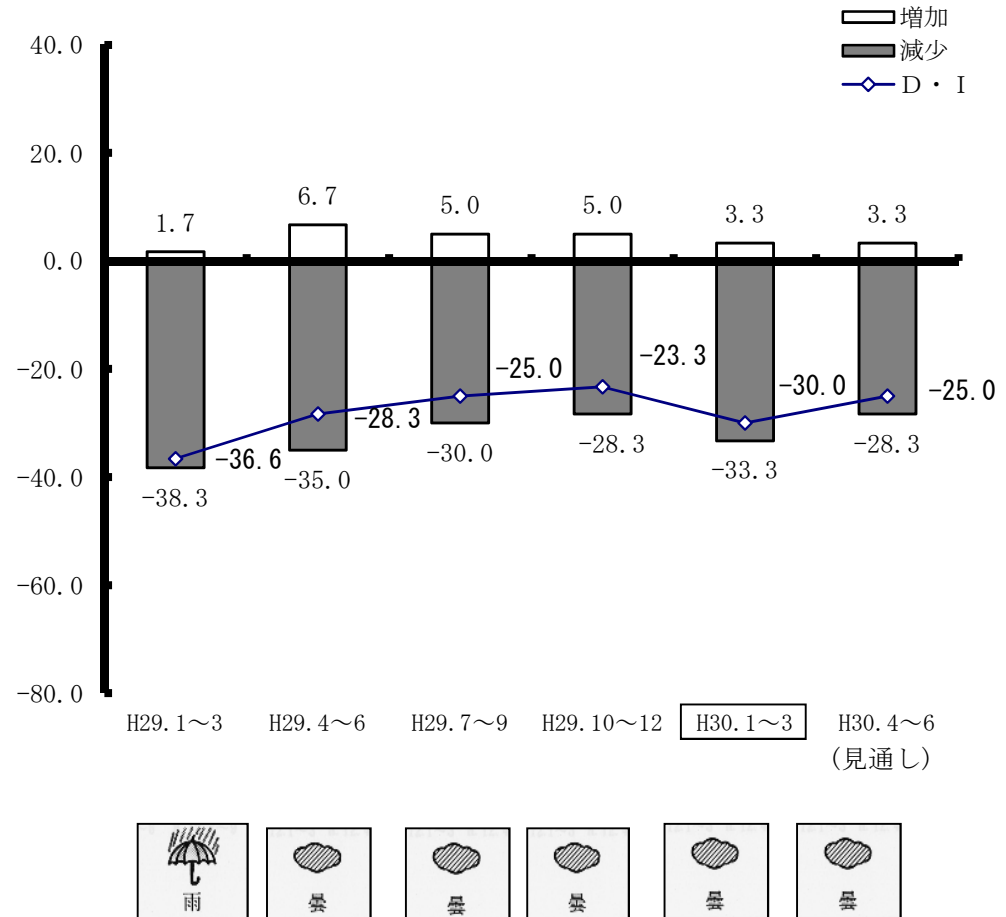


<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業割合が小幅に減少し、採算が悪化した企業割合が5ポイント増加したことから、採算D・Iは6.7ポイント減少して△30.0となり、マイナス幅が拡大しています。

来期は、採算の改善を予想する企業割合は横ばい、採算の悪化を予想する企業割合が減少する見込みで、採算D・Iは△25.0まで上昇し、マイナス幅を縮小する見通しです。

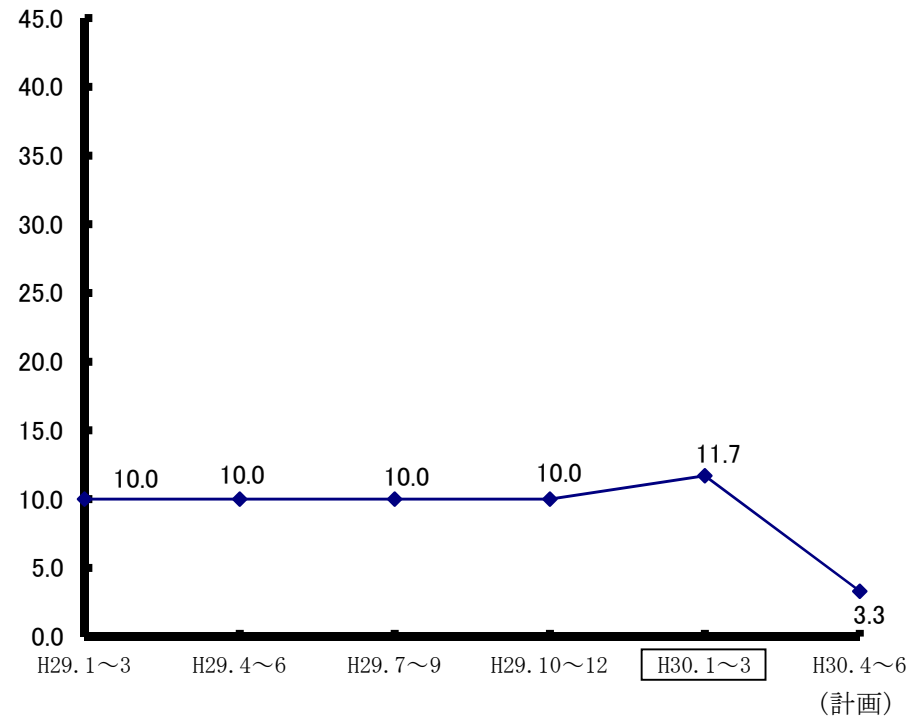


設備投資

今期設備投資を実施した企業数の割合は前期より1.7ポイント増加したものの、依然として11.7の水準にとどまっております。

来期は、設備投資を実施する企業数の割合は減少が予想され、3.3まで低下する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



サービス業の推移

経営上の問題点

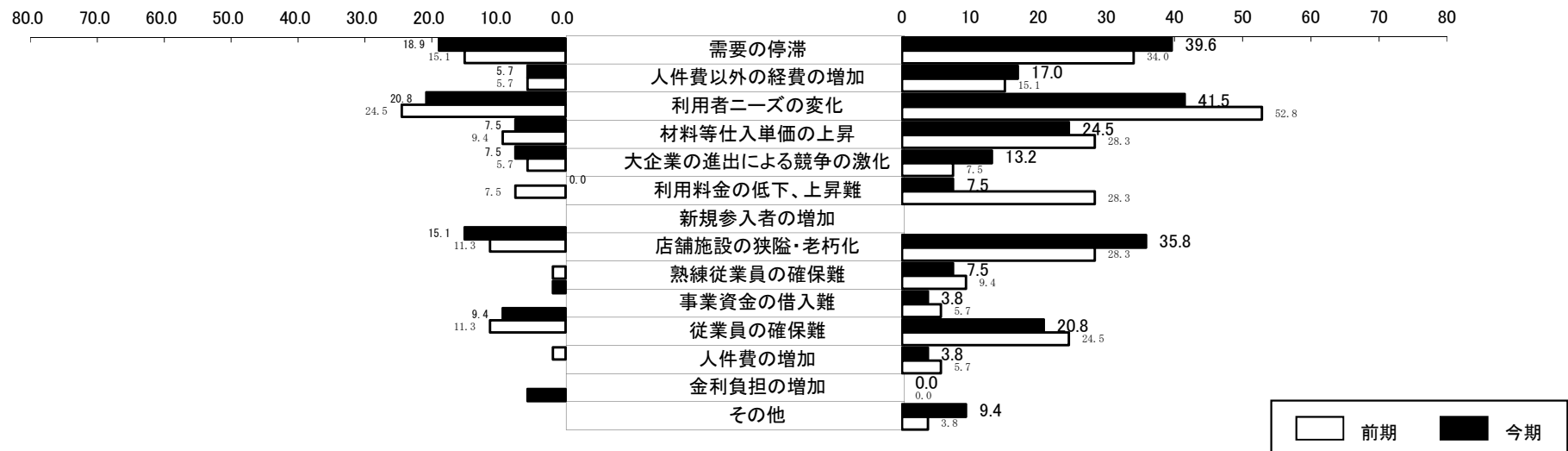
岩手県 サービス業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

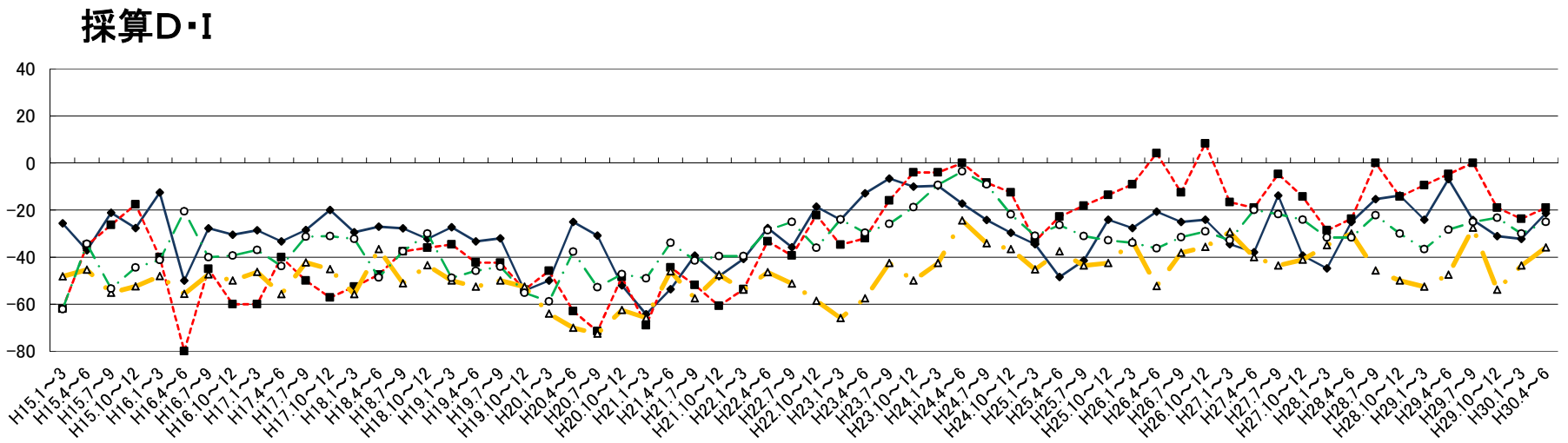
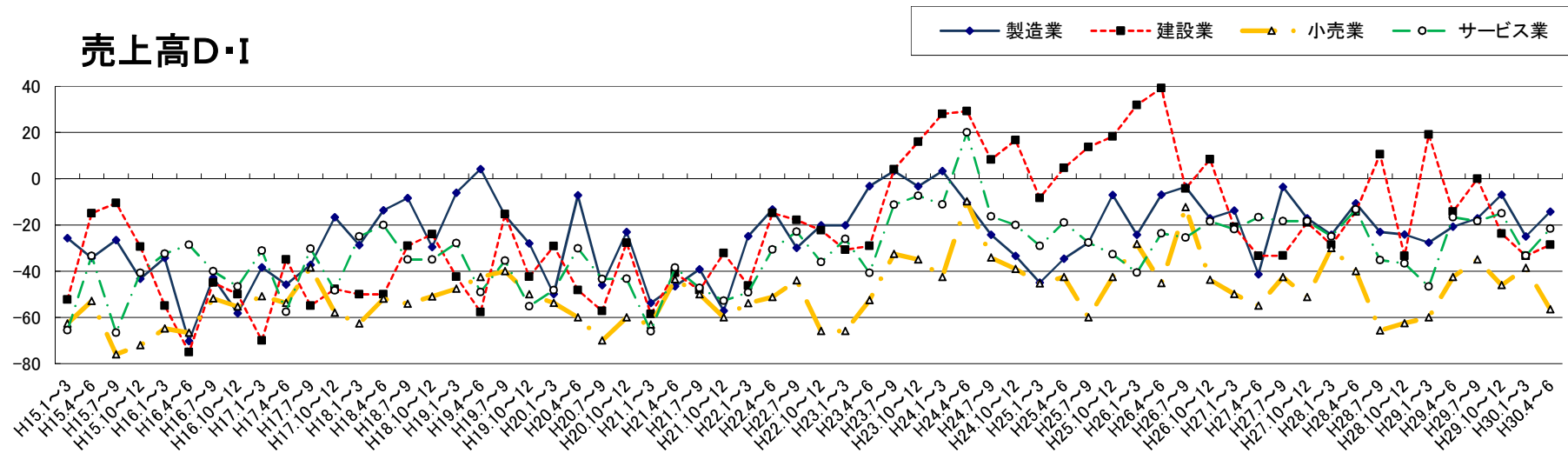
1位の問題点

1位~3位の問題点

(目盛:%)



全産業の過去データの推移(平成15年1月以降)



集 計 資 料

調 査 要 項

1. 調査対象 (1) 対象地区 県内10商工会地区 遠野、陸前高田、二戸市、雫石、葛巻町
(商工会名) 紫波町、金ヶ崎町、田野畑村、普代、軽米町
- (2) 対象企業数 150 企業
- (3) 回答企業数 148 企業
2. 調査対象期間 平成30年1月～3月を対象とし、調査時点は平成30年3月1日としました。
3. 調査方法 (1) 商工会の経営指導員が訪問面接し、聞き取りにより行いました。
(2) 調査対象地区の設定は、商工会地区市町村人口規模別の実態を勘案して行い、調査対象事業の抽出は、業種規模等有意選出により行いました。

4. 対象企業等内訳

業種	項目	対 象 企 業 数	回 答 企 業 数	回 答 率 (%)
製造業 (地域産業)		29 (19.3)	28 (18.9)	96.6
建設業		21 (14.0)	21 (14.2)	100.0
小売業		40 (26.7)	39 (26.4)	97.5
サービス業		60 (40.0)	60 (40.5)	100.0
		150 (100.0)	148 (100.0)	98.7

(注) カッコ内の数字は、構成比 (%) を表す。

5. その他 本報告書中のD・Iとは、ディフュージョン・インデックス (景気動向指数) の略で、各調査項目についての増加 (上昇、好転、長期化) 企業割合と減少 (低下、悪化、短期化) 企業割合の差を示すものであります。